

53 D 4

特 許 庁

実用新案出願公告

実 用 新 案 公 報

昭33-8815

公告 昭 33.6.13 出願 昭 31.9.4 実願 昭 31-45053

考 案 者 高 石 繁 之 茨木市大字茨木 712
出 願 人 高 石 工 業 株 式 有 限 公 司 同 所

(全1頁)

内 部 力 板 入 り オ イ ル シ ール

図 面 の 略 解

図面は本考案内部力板入りオイルシールの一部縦断側面図を示す。

実 用 新 案 の 説 明

図中1は内部力板入りオイルシールの外輪部、2は油止め内縁であつて共に合成ゴムで製作される。3はそれに嵌装せる環状螺旋発条であり、4はほぼZ字型をなす金属製力板の垂直縁、5はその外縁、6はその内縁、7はオイルシールの外側壁である。

金属製力板は垂直縁4と外方へ直角に折曲げた外縁5及び内方へ直角に折曲げた内縁6で構成し、1枚の金属板で作られ、外輪部1の油側面8、9、10の直下に埋没的に焼付けて補強とする。

油止め内縁2に強い圧力が加えられ又は震動が

甚しい時には常に油止め内縁2は不安定下に置かれ破損及び油洩れの原因となるが、本考案による時は、垂直縁4及び内縁6で支えられているので此の不安は全くない。

しかもハウジングの奥底面と接触する油側面8の直下には外縁5があるので正しく確実に接するので油の面洩れは皆無であり、ハウジング内径に強く嵌入せられた外側壁7と相協同し克く油の皆洩れを防ぎ、強圧、強震動に耐える良好なるオイルシールを製作し得る。

登 録 請 求 の 範 囲

図面に示す如くその断面はほぼZ字型をなす金属製力板の垂直縁4及び外縁5及び内縁6を、外輪部1の油側面8、9、10の直下に埋没的に焼付けて成る内部力板入りオイルシールの構造。

